03 ― 令和8年熊本地震 被災地派遣報告 ―
熊本地震の教訓を胸に―

04 糸満市の子育て応援情報
Itotama いとまん玉手箱

06 HEALTH TOPICS
まちがいさがし

07 **中央図書館**

08 ― 十五夜Photo Report ―
名月が照らす、地域の鼓動。

12 ― 真栄里大綱引き特集 ―
7年ぶりの熱気

14 **旬の話題をお届け！ とれたて いとれぽ**

16 **ピックアップニュース！ Pick up News!**

18 **くらしの情報**

22 **相談窓口**

23 歩いて。見つめて。當銘市長のてくてく通信

沖縄県糸満市

人口、世帯数、火災・救急件数は2026年9月末現在
※（　）内は令和8年の累計

人口

	9月	前月比
人口	62,087	-2
男	31,506	-16
女	30,581	+14
世帯数	29,302	+5

火災・救急

	9月	前年比
火災	2件（19件）	+2件（+10件）
救急	319件（2748件）	+41件（+13件）

糸満市公式SNS ▶ LINE Instagram Facebook



今月の表紙

今月は真栄里大綱引きで、東村・西村それぞれの女性らが太鼓や踊りでガーエーしている場面です。男性が行うガーエーさながらの熱気の中、最前線で太鼓をたたく女性の表情にひかれて、シャッターを切りました。



今月の題字

中本（なかもと） 里音（りね） さん

いとまんの「ん」の文字が難しかったです。将来の夢はイラストレーターで、今回の題字の色付けも自分で考えてやってみました。糸満市はたくさんの魚を売っているので、私も釣りにチャレンジしてみたいです。



熊本地震の教訓を胸に―

令和8年7月に熊本地震が発生。糸満市から被災地支援のため、2人の職員を派遣しました。派遣された2人が被災地で見たもの、経験したことをお伝えします。



令和8年熊本地震
被災地派遣職員
秘書防災課 防災係
當間（とうま） 哲平（てっぺい） 副主査

8月に熊本県八代市で避難所の運営支援として、支援物資を受け入れる業務に携わりました。今回の派遣を通して、災害発生時の対応をスムーズに進めるには、普段の備えが大切だと実感しました。関係機関や団体との協定締結や見直し、災害を想定した施設の整備、支援を受け入れる体制づくり、そして実際の場面を想定した訓練の実施。こうした日頃の備えが、災害発生時の素早く的確な対応につながります。

今後は、この経験を市の防災対策に生かしていくとともに、災害への対応力を高めるため、市民の皆さんへ防災への意識を高めていただく呼びかけにも取り組んでいきます。また、行政、関係機関、企業、地域がつながり、互いに協力し合える関係を築き、多くの人の力を合わせて災害に強いまちを目指します。





令和8年熊本地震
被災地派遣職員
税務課 固定資産税係
豊見山（とみやま） 雛海（ひなみ） 主任主事

現地で私が担当したのは、住家被害認定調査に関する業務です。これは、家屋がどの程度被害を受けたかを調査するもので、仮設住宅への入居や住宅ローン返済の猶予などを申請するときの罹災証明書を交付するために必要な調査です。今回は、実際の現場調査ではなく、事務作業が中心でしたが、多い日には1日に約100件の依頼があり、支援を必要な被災者がまだ多くいることを実感しました。

住家被害認定調査と罹災証明書の交付は、被災された人の生活再建のために重要な業務ですが、普段の業務では触れる機会がありません。だからこそ、今回の派遣を通して、調査依頼を受けてから調査班を送り出すまでの業務の流れを学べたことは、大きな経験でした。この経験を生かせるよう、これからの業務に取り組んでいきます。